

# 明るく房後

房後連絡協議会 編集  
平成十六年十月二十八日発行  
第一三三十一四号

## 房後収穫祭



房後連絡協議会の年間最大行事「房後収穫祭（敬老会を兼ねる）」が来月七日午前九時から、ふれあいセンターで開催されます。農産物品評会では台風で野菜不作といわれていますが、多くの力作が呈ぶようご協力下さい。各集落ごとの女性会を中心とする演芸等も大いに期待され、楽しい一日となりそうです。この行事の説明案内は、事前に配布します。

### ふれあいサロン

今月のふれあいサロンは、たまたま今年最大の台風二十三号が襲来した二日でした。それで、随分心配しながらふれあいセンターで開催しました。幸い雨は多く降ったものの、先月の十八号台風ほどの風には遭わず、全員無事帰宅出来ました。

午前中は高美園在宅介護支援センターの松本さんから「まずは介護予防」と題するお話をお聞きしました。いつまでも頭とからだ元気であるためには日頃の健康管理が大切。特に「閉じこもり」から寝たきりや痴呆へ進む場合が多いので、進んでより多くの人と交わるようにしたいもの、ということでした。その他、介護についての考えやその状況、サービスの利用法等の話を行いました。午後は歌唱練習、その成果は収穫祭で発表されます。来月は収穫祭と敬老会のためお休みです。

### 高宮大地の祭り

今度の日曜日、三十日に生田川親水公園で「たかみや大地の祭り」が開かれます。おなじみになった二百四メートルの巻き寿司、味自慢料理やがしがしのコンクール、抽選会などの楽しい行事が計画されています。近い場所でもあるし、誘い合って参加しましょう。

### 明泉寺報恩講法座

十一月二十二日(月)朝席九時半屋敷一時間二十三日(祝日)はおとぎが出ます。(担当新迫講中)土曜学校の子供さんもお参りします。両口ともタクシーが運行します。御講師 美上里町善正寺 高橋義満師

### 本山参拝旅行

十一月十二(金)十三(土)の二泊三日。今年に平等院と浄瑠璃寺にもお参りします。参加費三万三千元。申し込みは今月末まで。親戚、知人等他地区の方も参加できます。

### 敬老会での高齢者表彰者

今年の収穫祭恒例の高齢者表彰は、百歳(明治三八年生まれ)吉岡イチノ、八〇歳(大正一二年生まれ)田中力、田中キサエ、角保スミエ、林川良明の皆さんです。(敬称略)

### 民謡民舞の祭典

体育の日に田園パラッツォのホールで「みんな文化祭」ひるしま。〇四民謡民舞の祭典。が満席、階段や通路までも立ちつくすほどの盛況のなかで開催されました。この催しには、地元高宮町を代表して勘部の竹内チエミ、皇田初枝、竹内登智子、上安多美子、川崎清子の皆さんがへん島民謡「房後支部」として出場、「鯉城節」を熱演されました。房後の各地域からも多くの方が観覧と応援にお出でいただきました。有り難うございました。

### ♪ありがとう お米さん

#### 榎原ミツエさん作詞

房後有数の大型機械農家で、秋の取り入れで多忙だった榎原ミツエさんが、その生活体験をもとに作詞されたものを、このほどカラオケの先生が作曲されました。それを歌の上千なミツエさんがテープに吹き込んでおられます。みんなで何時かの機会に歌ってみたいものです。一ありがとうお米さん、と題する歌ですが、その一番だけを紹介しておきます。

見渡す限りの 新緑の  
合間に燃ゆる 山つつじ  
稲田に蓮蓬の花咲けば  
青々茂る 橘の苗  
春の光を 浴びながら  
大きく育てと 声かける

### 房後風上記

#### 房後の滝

房後の川はなだらかな流ればかりで、河床の崖を流れ落ちる滝はないと思っていました。が、日詰貫二さんから、今年の厳寒に氷柱が下がっている滝を撮影した写真を頂きました。粒原川にある小さな滝です。



粒原盆地とその周辺の山の約百五十町歩を流域とする粒原川は、二十から三十メートルもの落差で房後川に注ぎます。その間の三百メートルばかりが、急傾斜の「坊主が谷」の谷川です。そこは何か所もの滝と瀬になっていて、川に沿って途中までは二車線の広い立派な町道が通っていますが、道路傍の川は、草木に覆われてしまい、台風や秋雨で増水した今、滝の音や瀬音が聞こえるだけです。ただ右の写真の滝だけは、川床まで降りて見ることが出来ます。高成長以前には、この辺りに水車小屋が二カ所もあって、精米などで大いに活用したものです。時は移り、今では多くの人がこの急流に関心を持たなくなっていました。